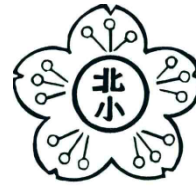


北小物語2018



平成30年10月 5日
平戸市立田平北小学校
学校便りNo. (49)
校長 曾川 和則

◇◇◇ 『いい顔』『いい声』『いい心』 たゆみなく流れて清き「わが田平北小」 ◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆☆☆ 第49話：「北っ子6年生の修学旅行～第2日目～」の巻

☆☆☆

第2日目：最終日



感じ・考えた修学旅行

ホテルの部屋に朝日が降り注ぎ、心地よい眠りから目覚めた子どもたち。修学旅行2日目スタートしました。朝ご飯をいただき、楽しく過ごしたホテルに別れを告げ、北小6年生一行は、平和公園を訪れました。広がる青空、聞こえる鳥の声。そして群青の平和祈念像。73年前に起こった悲劇に想いを馳せ、全校児童で心を込めて作った千羽鶴を奉納し、改めて平和の大切さをかみしめた6年生の子どもたちです。ボランティアガイドさんの分かりやすい説明を受けながら平和公園・原爆落下中心碑・原爆資料館を回り、「平和は私たちの手で！」という思いを一層強くしました。昭和20年8月9日11時2分でその刻みを止めた柱時計。北っ子たちは、これから、みんなの手で平和の時計を回し続けます。



午後を挟んで実施したのは、子どもたちが班別にプログラムした自主研修。お楽しみの昼食会場も入れ込み、グラバー園や亀山社中跡地、出島など、長崎市街に広がる名所・遺跡を巡る冒険ツアーです。地図や案内標識をたよりに、徒歩と路面電車を乗り継いで、ゴールである長崎駅前広場に全員たどり着くことができました。9月初めから長崎の名所を調査し、班のメンバーで計画を立ててきた自主研修です。修学旅行とは「学びを修める（身に付ける）学習」ですが、自主研修の取組は、「協力」や「思いやり」といった心と行動の学習も含め、百聞は一見に如かずの尊い学びとなりました。そして、バスは子どもたちを現実の世界へと引き戻しました。「ただいま～!」。こうして、二日間の夢の旅が終わりました。

